

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 141 号 2010.1.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

今年度も「TOREK 自然農法ホットニュース」では、安全安心な「食」の普及を願って、自然農法の実践のお話や、人に適した作物の証し、また各行事の報告などをご紹介していきたいと思ひます。

今年第一弾は、農産展や頒布会のスタッフとして自然農法普及に取り組む町田俊明さんのお話です。「農産展！今年も多くの方の作物の出品をお待ちしています！」とメッセージも頂いています。

自然農法の遠距離実践！

足立区 町田俊明



現在、自宅から 80 キロ離れた茨城県小美玉市で、約 300 坪の畑を借り、友人と一緒に自然の野菜作りをしています。始めようと思ったきっかけは、農産展や頒布会のスタッフとして、市販苗のことや自家採種のことを気にするようになり、その手間や苦労がどれくらいなのかを体験することで、何かを共有したいと思ったからです。

2008 年、長野県佐久市で 30 坪ほどの庭先を借りることができました。しかし、200 キロも離れているので、月 1 回のペースがやっとで、手のかからない根菜中心でした。翌年 3 月に、一緒にやっていた友人から、茨城で畑を貸してくれる方がいるとの知らせ。早速行ってみると、日当たりは良く、土はフカフカで、すぐ

気に入り、その場でお借りすることにしました。

いざ始めてみると、梅雨明けからは雑草の伸び方がものすごく早く、種蒔き、間引き、芽欠き、整枝など、やらなくてはならないことは山盛りにあるので、雑草取りをしている時間がなく、畝間は草だらけの状態でした。それでも、蒔いた種はほとんどが発芽し、収穫に追われるとともに、採れすぎた野菜の行き先にも苦労しました。

採れた野菜の一部を知り合いのレストランに持って行き、食べてもらおうと、「美味しい」と言ってもらえ、無肥料で育てていることなど、TOREK 活動のことを伝え、良い物が出来たときは購入してもらっています。また、古くからの友人が始めた別の食堂にも、無肥料野菜のことを伝え、その友人には頒布会



農産展出品作物

にも来ていただきました。その食堂は「食で癒しを与える」と言ったコンセプトの店で、その常連で大病をされた方が、無肥料の野菜を食され、味が濃く体にスーッと入っていくと感激してくださいました。

週に 1 回、遠距離なので、あまり手が掛けられないのですが、作ってみて時期の大切さを本当に感じました。種蒔き、土寄せ、間引き、芽欠きなど、生産者が本当に手をかけて作ってくれていることが分かりました。購入した無施肥の作物を頂くときは、感謝の合掌は欠かせません。



鉄欠乏性の貧血が改善した近藤さんのお話

昨年 6 月 25 日発行のホットニュース 134 号に、自然農法の作物を中心にした食生活に変えたことで、貧血が改善され、元気になったという近藤さんの報告がありました。近藤さんが医師に「いつ倒れてもおかしくない」と言われた数年前の血中のヘモグロビン数値は 5.7 だったそうですが、食生活を変えてから徐々に回復を見せ、昨年 11 月 17 日の検査結果では、なんと 13.3 に上がっていたとのこと。

一方、先日 1 月 14 日の毎日新聞朝刊に「世界保健機関の報告では、世界人口の



ほぼ半分が鉄欠乏による貧血症とされ、「白米の鉄含有量を従来の 3 倍に高めたイネを、東京大などが遺伝子組み換えで開発し、「貧血症のマウスがこの米を食べると回復することを確認」「実用化すれば貧血症の改善に貢献できる可能性がある」という記事がありました。

人間があればこれ手を加えて作った作物によって、貧血を改善していく方法もあるということですが、近藤さんの場合、大自然の力のこもった本来の作物を食べ続けることで、自然に貧血が改善されていたということで、自然農法の作物も、将来の研究対象になるべきではないかと感じました。(編集部)

熊本で自然農法稲作を行う渡辺さんの体験



そして今回もう一つ不思議なお話。熊本県菊池市にて自然農法の稲作を行う渡辺義文さんの体験についてお伝えします。

渡辺さんは家業の酒屋を営むとともに、稲作にも取り組んでいます。環境問題に関心を持ち、もともと有機肥料無農薬で稲作を行っていたのですが、さらなる安全で美味しい作物を求め、また平成 17 年に田んぼがウンカ(害虫)の被害を受けバタバタと稲が倒れたこともあり、翌年平成 18 年より無施肥無農薬栽培を実施しました。

するとその翌年平成 19 年、やはり地域にウンカが大発生したのですが、「隣の田んぼが 9 月末にウンカの被害にあい、9 月 30 日に稲刈りをしました。僕の稲刈り予定日は雄町という品種のため 10 月 20 日予定でした。隣接している僕の田んぼにもウンカがたくさん付いたのですが、一列目の稲が若干枯れてきただけで、そこからぜんぜん進んでいきませんでした。一週間後くらいには少し激しい雨が降り、ウンカがほとんどいなくなったのは驚きでした」とのこと。

昨年も、「ジャンボタニシの被害とスズメの被害がありましたが、例年通り順調に成長した」とのこと、農産展にも「ひのひかり」という米を展示されました。希望者にお米を販売し、皆さん「おいしい」と好評とのこと。渡辺さんの影響を受け、近隣で無施肥無農薬栽培を実施する方も出てきているそうです。今後の渡辺さんの活躍に期待したいと思います！(編集部)



自然農法頒布会のお知らせ



2 月 14 日(日) 東中野会場 10:00~ (売切れ次第終了)

加工品が種類豊富で、甘納豆・ヤーコンの佃煮・ほうれん草のケーキなどが新登場。葉ものは数に限りがありますが、ほうれん草と山東菜が入荷の予定です。

他にも、卵、大根、里芋、カブ、人参、ジャガイモ、サツマイモ、飯塚さんのお米、干し柿など多数。恒例の塩むすびは、五三会のお米です。無施肥無農薬栽培で自家採種 29 年のお米をぜひ味わってください！

2 月 18 日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売切れ次第終了)

先日 1 月 20 日、新しい会場での青空頒布会？も好評のうちに終了しました。調理されたキウイモの試食がとてもおいしかったです。

今後もスタッフが打ち合わせを重ね、より良い頒布会になっていくと思います。皆様の来場をお待ちしています。発送注文も受け付けます。ぜひお試しください(問い合わせ 047-446-7482)



無施肥無農薬栽培物の販売予定

2 月 4・10 日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産：もち米、黒豆の納豆、きのこめし(きのこめしは 4 日のみです)
飯塚農園：ダイコン よしたい農園：モチ米
長柄山自然農園：卵、ダイコン 市川生産グループ：煎茶、ほうじ茶
中島農園：ダイコン、ジャガイモ
ジョリフィーユ：《パレンティンセット》マドレーヌココア、カスタードプリン、かぼちゃのモンブラン ほか



お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>